



えとう たつ や
衛 藤 竜 哉

市民クラブ

エコパーク登録を目指すには 市民の周知が足りないのでは

～登録を目指し、関係自治体と協力し、
普及啓発活動を行う～

質

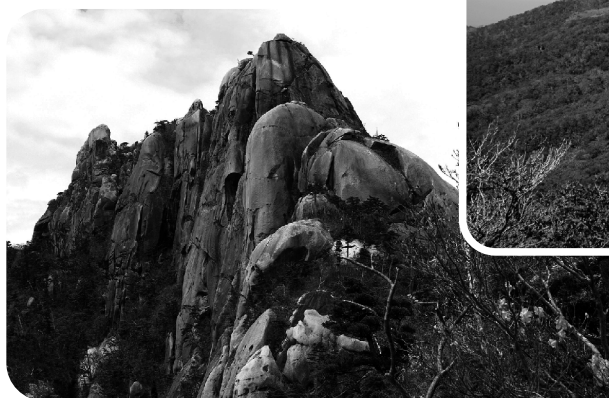
大分・宮崎両県との連携の下、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録認定に向け、推進しているようであるが、これまでの進捗状況等を伺いたい。また、それぞれの取り組みは

答

商工観光課長

ユネスコエコパークの取り組みは、大分・宮崎6市町が同調し、協力しながら普及啓発活動を行うべきと考えます。本年11月には本市の会場でエコパーク

祖母山



おお ぐさ 崩 山
大 崩 山

シンポジウムが開催されます。また、大分県側の案ですが、祖母・傾ユネスコエコパーク推進実行委員会を設置する予

定であり、祖母・傾のプロモーションビデオやパンフレットを作成し、さまざまなイベント会場での普及啓発活動を行う予定です。

防災・災害対応への取り組みは 市、消防本部、消防団、防災士、住民との 連携が不可欠だが大丈夫か

～現行の体制では不十分、推進体制の強化を図る～

質

全国的に頻繁に災害が起き、防災について意識することが多くなった。市として防災での連携、情報の共有等、考え方、取り組みを伺う。

答

市長

市民、防災士や消防団へ意識の浸透をさせていくには、実践的な訓練は必要不可欠であると考え、その継続が減災に繋がると考えます。

防災意識のさらなる高揚に繋がる訓練については、より一層の工夫と継続的な取り組みが必要と考えます。

災害は、地震、集中豪雨、土砂災害など、さまざまな災害に対する備えが必要で、今後、市民の皆さまとともに訓練などを通して構築していきたいと考えています。